

## 18th TETRAHEDRON SYMPOSIUM at Budapest, Hungary に参加して

M2 日下部瑛規

6月27日から6月30日まで、ブダペストで開催された18th TETRAHEDRON SYMPOSIUMに参加してきました。日本からハンガリーへの直行便はないため、トルコ航空でイスタンブールを経由となり、6月26日22時半に成田を出発し、6月27日8時にブダペストに到着しました（ここまで17時間半かかって、すでにしんどい笑）。空港で交通機関のフリーパス（かなり便利だった！）を買い、バス・地下鉄を乗り継ぎ、ホテル（Mercure Budapest Buda）に到着し、荷物を預けました。チェックインにも学会が始まるのにも時間があつたので、ホテル周辺の観光地を回りました。王宮の丘や美術館、綺麗な街並、ドナウ川などを見て周り、（さんざん体力を使い果たして）ホテルに戻り、16時にチェックインしました。それから学会会場（Budapest Congress Center）にバスで向かい、ポスター発表を行いました。ポスター発表が終わると撤収し、20時過ぎ（外はまだ明るい）、ホテルに戻ってきました。



二日目、ホテルで朝食を食べて、オペラ座の見学ツアー（左写真）のチケットを買いに出かけました。周辺を観光した後、学会会場に向かい、原田さんのポスター発表の準備。他の人のポスターを見て、ランチを食べた後、オペラ座の見学へ。オペラ座に到着して、よく分からずうろちょろしていると、日本人を見つけて、ひと安心笑。日本語ツアーだったので、日本人が15人ほどいて、その中に学習院大学の秋山隆彦先生がいらっしゃいました。ガイドさんは日本語がとてもお上手でした◎。学会会場に戻り、原田さんがポスター発表。夕食はガイドブックにあったレストランで。メニューがよく分からず、適当に頼みました。後になって、色々聞いて注文すれば良かったなと後悔。

三日目、ちょっと遠くへということで鍾乳洞のツアー（右写真）に参加することにしました。バスを乗り換え、山の方へ。洞窟の中は暗い！寒い！笑、上着持ってきてない！笑、楽しかったです。学会会場に行き、ランチを食べ、ポスター発表を聞きました。初日に知り合いになった名古屋大学の北村研のD1の方とスタバに行き、雑談。そして、会場に戻り、2016年のノーベル化学賞を受賞した、ベン・フェリングの講演を聞きました。分子モーターとしての分子デザインと合成についてのお話をされていた気がします、貴重な経験でした。その後、ドナウ川ディナークルーズを予約していたので（6千円くらい？）、受付に向かうと、何やら正装した人たち（おそらくオペラか何かに参加する人たち）がたくさんで、場違い感が半端なくて、すごく嫌でした笑。船に移動して、クルーズが始まり、食事はビュッフェ形式でとてもおいしかったです◎、写真は無いです笑。このときに一番、ハンガリー料理を食べたかもしれません。



最終日、ホテルで朝食を食べて、チェックアウト。荷物をホテルで預かってもらって、ワイン専門店や中央



市場に行き、お土産の購入と観光。昼食は世界一綺麗といわれているマクドナルド（左写真）に行って食べました。店内はすごくきれいでした。ホテルに荷物を取りに行き、地下鉄・バスを乗り継ぎ、空港に向かいました。帰りもトルコ航空でイスタンブールを経由して、15時間半かけて成田に帰ってきました。

今回、人生初の国際学会に参加して、自分の英語が未熟なことを実感しました。色々な分野のポスターがあり、どのように魅せるかなどデザインにおいてもたくさん学ぶことができました。また、今回は初の海外旅行でもあり、日常英会話ももっと身に付けておくともっと楽しめたかなと感じました。ハンガリーの気候はすごく過ごしやすく、食事もおいしかったので、また行きたいです。研究室へのお土産には、ハンガリー伝統のお酒、パーリンカとウニクム（ついでに定番のお土産チョコレート）を買いましたが、なかなか個性の強いお酒笑。実家にはパプリカパウダーと赤ワインを買って、こちらは好評でした◎。以上、初国際学会参加レポート兼、海外旅行記となります、機会があればまた行きたいです。